

長野自動車道
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事

割掛対象表 参考内訳書

- ・ この割掛対象参考内訳書は、入札者の適正な施工計画検討に資するための参考資料であり、契約書第1条に示す設計図書ではない。
- ・ 割掛対象参考内訳書は、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、本工事の入札者は施工条件等を十分配慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- ・ 割掛け対象表参考内訳書の内容に関する質問は受け付けない。

令和 8 年 6 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
長野工事事務所

【共通仮設費】

| 割掛対象表 の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳（参考） | 図面 |
|--------------------|--|---|----|
| 工事中機械分解組立費 A（A） | 重建設機械の分解、組立、現場内移動 及び分解、組立時の損料または賃料に 要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋（A1-P2間）】ベント架設用 ○分解・組立を要する現場内移動（上り線架設ヤードからの移動） （上り線側架設ヤードからの移動） トラッククレーン系 200t吊 1台 1回 | － |
| 工事中機械分解組立費 B（A） | 重建設機械の分解、組立、輸送及び運 搬時の損料または賃料に要する費用を いう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋（P2-P3間）】一括架設用 ○基地から現場（往復） トラッククレーン系 1250t吊 1台 1往復 運搬距離 L= 60.0 k m（片道） トラッククレーン系 200t吊 1台 1往復 運搬距離 L= 60.0 k m（片道） | － |
| 工事中機械分解組立費 C（A） | 重建設機械の分解、組立、輸送及び運 搬時の損料または賃料に要する費用を いう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋（P3-A2間）】ベント架設用 ○基地から現場（往復） トラッククレーン系 360t吊 1台 1往復 運搬距離 L= 60.0 k m（片道） | － |
| 工事中機械分解組立費 （K） | 重建設機械の分解・組立・輸送及び運 搬時の損料または賃料に要する費用を いう。 | 【川田橋】トラッククレーンベント架設用 ○基地から現場（往復） トラッククレーン系 120t吊 1台 1往復 運搬距離 L= 11.8 k m（片道） | － |
| 仮設材運搬費（A） | 桁の地組・架設等に使用する仮設材 （敷鉄板）の運搬に要する費用をい う。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 敷鉄板1524*22*6096（リース品） 運搬距離 L= 60.0 k m（片道） 約 2590 t | － |
| 仮設材運搬費（K） | 桁の地組・架設及び埋設管防護等に使 用する仮設材（敷鉄板）の運搬に要す る費用をいう。 | 【川田橋】 敷鉄板1524*22*6096（リース品） 運搬距離 L= 11.8 k m（片道） 約 154.0 t | － |
| 地質調査等費（A） | 平坂載荷試験に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 平坂載荷試験 3箇所（上り線側架設ヤード ベント設置箇所） （上り線側架設ヤード 大型クレーン設置箇所） （下り線側架設ヤード ベント設置箇所） | ○ |
| 地質調査等費（K） | 平坂載荷試験に要する費用をいう。 | 【川田橋】 平坂載荷試験 2箇所（上り線ベント設置箇所） （下り線ベント設置箇所） | － |
| 現場溶接部検査費 （K） | 鋼桁の現場溶接部で超音波探傷試験を 用いる場合の性能試験、施工性試験、 外観試験、超音波探傷試験、報告書作 成に要する費用をいう。 | 【川田橋】 上り線：6.8m 下り線：6.5m | － |
| 非破壊検査試験費 （A） | コンクリート構造物の非破壊試験によ る鉄筋かぶり確認に要する費用をい う。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 1) 床版 上向き作業 10 箇所 下向き作業 32 箇所 2) 壁高欄 側面作業 84 箇所 3) 横桁巻き立てコンクリート 側面作業 4 箇所 合計 130 箇所 | － |

| | | | |
|-----------------|--|--|---|
| 非破壊検査試験費 (K) | コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋被り確認に要する費用をいう。 | 【川田橋】 1) 床版 上向き作業 8 箇所 下向き作業 8 箇所 2) 壁高欄 側面作業 32 箇所 | — |
| 有料道路料金 (A) | 特記仕様書 (25-2-12) に示す、交通規制工のうち、松本 I C～長野 I C間の通行料金の費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 鋼橋の架設 B 本線通行止め 1 回 | — |
| 有料道路料金 (K) | 特記仕様書 (25-3-10) に示す、交通規制内の工事内容のうち、長野～須坂長野東 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。 | 【川田橋】 伸縮装置 A 本線規制 2 回 撤去工 伸縮装置 本線規制 1 回 | — |

【準備工事費】

| 割掛対象表 の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳 (参考) | 図面 |
|-----------------|--|--|----|
| 架設ヤード整備費 (A) | 桁の地組・架設等のための架設ヤード整備に必要な敷鉄板の設置・撤去に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 ○上り線側架設ヤード A= 11500.0 m ² (運搬費を含まない) 工区内設置撤去 供用日数：428日 ○下り線側架設ヤード A= 3500.0 m ² (運搬費を含まない) 工区内設置撤去 供用日数：162日 | ○ |
| 架設ヤード整備費 (K) | 桁の地組・架設等のための架設ヤード整備に必要な敷鉄板の設置・撤去に要する費用をいう。 | 【川田橋】 施工期間 ○A1側作業ヤード A= 250.8m ² (運搬費を含まない) 工区内設置撤去 供用日数：6.0ヵ月 ○A2側作業ヤード A= 157.9m ² (運搬費を含まない) 工区内設置撤去 供用日数：6.0ヵ月 | ○ |

【仮設備工事費】

| 割掛対象表 の項目名称 | 工事の内容 | 数量内訳 (参考) | 図面 |
|------------------------|--|--|----|
| 吊足場工費 A (標準型側面) (A) | 橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面 (側面足場に防護が無い構造) の吊足場工に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋 (A1-P2間)】 架設足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 1.3 ヶ月 主体足場 A= 1404.4 m ² 床版足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 5.0 ヶ月 主体足場 A= 1404.4 m ² | ○ |
| 吊足場工費 B (標準型側面) (A) | 一括架設桁の地組に必要な主体足場及び標準型側面 (側面足場に防護が無い構造) の吊足場工に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋 (P2-P3間)】 架設足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 1.0 ヶ月 主体足場 A= 948.3 m ² 床版足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 1.6 ヶ月 主体足場 A= 948.3 m ² | ○ |
| 吊足場工費 C (標準型側面) (A) | 橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面 (側面足場に防護が無い構造) の吊足場工に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋 (P3-P4間)】 架設足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 2.0 ヶ月 主体足場 A= 845.7 m ² 床版足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 6.8 ヶ月 主体足場 A= 845.7 m ² 【安曇野北インターチェンジランプ橋 (P4-A2間)】 架設足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 2.0 ヶ月 主体足場 A= 1623.6 m ² 床版足場 (標準型側面) 設置期間 (供用日数) 6.8 ヶ月 主体足場 A= 1623.6 m ² | ○ |

| | | | |
|----------------------|--|---|---|
| 吊足場工費 (標準型側面) (K) | 橋梁拡幅の施工に必要な主体足場及び標準型側面(側面足場に防護が無い構造)の吊足場工及び朝顔の設置・撤去に要する費用をいう。 | 【川田橋 橋梁拡幅】 架設足場(標準側面) 設置期間(供用日数) 10.8 ヶ月 主体足場 A= 96.3 m ² 【川田橋 朝顔の設置・撤去】 設置・撤去数 A= 45.8 m ² | ○ |
| 吊足場工費 (防護型側面) (K) | 橋梁拡幅及び既設壁高欄撤去の施工に必要な主体足場及び防護型側面(側面足場に防護が有る構造)の吊足場工及び朝顔の設置・撤去に要する費用をいう。 | 【川田橋 橋梁拡幅】 架設足場(防護型側面) 設置期間(供用日数) 10.8 ヶ月 主体足場 A= 147.9 m ² 【川田橋 壁高欄撤去】 架設足場(防護型側面) 設置期間(供用日数) 16.8 ヶ月 主体足場 A= 249.2 m ² 【川田橋 朝顔の設置・撤去】 設置・撤去数 A= 101.9 m ² | ○ |
| 昇降足場費 A (A) | 橋梁上部工への昇降及び吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 昇降足場(10m未満) ・A1橋台 設置期間(供用日数) 8.9 ヶ月 昇降足場 V= 166.2 空m ³ ・P5橋脚 設置期間(供用日数) 13.1 ヶ月 昇降足場 V= 128.0 空m ³ ・A2橋台 設置期間(供用日数) 13.1 ヶ月 昇降足場 V= 155.5 空m ³ 昇降足場(10m以上～20m未満) ・P1橋脚 設置期間(供用日数) 8.9 ヶ月 昇降足場 V= 151.9 空m ³ ・P2橋脚 設置期間(供用日数) 10.1 ヶ月 昇降足場 V= 165.0 空m ³ ・P3橋脚 設置期間(供用日数) 13.9 ヶ月 昇降足場 V= 153.1 空m ³ ・P4橋脚 設置期間(供用日数) 13.1 ヶ月 昇降足場 V= 188.0 空m ³ | ○ |
| 昇降足場費 B (A) | 一括架設桁の地組に必要な昇降足場に要する費用をいう。 | 【安曇野北インターチェンジランプ橋】 昇降足場(10m未満) 設置期間(供用日数) 4.0 ヶ月 昇降足場 V= 53.8 空m ³ | ○ |

